

○飯塚委員 不當廉賣ガ正當ノ賣買デ
ナイト云 フコトハ、此不當デアルト云
フコトハ明デアルガ、其正當デアルカ、
不當デアルカト云 フコトハ、餘程ムヅ
カシイコトデアル、普通ニ生產費ト販
賣費、是タケノ値段ハ要求スル、其上ニ
利益ヲ要求スルノハ當然デアリマス
ガ、時ニ依テハ生產費ニモ足リナイモ
ノヲ賣ル場合ガ幾ラモアル、外國品バ
カリデナク、日本ノ製品ニ於テモ、殊ニ
不景氣ノ時ナドニハ生產費ヲ割ッテ賣
ラザルヲ得ナイト云 フ場合ガアル、耀
市場ニ賣ルヤウナモノハサウ云 フ場合
ガアル、之ヲ以テ不當廉賣ト見ルカ、ソ
レガ若シ惡意ガナケレバ、不當廉賣ト
セナイカト云 フ、具體的ノ質問デアリ
マス、生產費ト販賣費ハチャント定ツテ
居ルノダカラ、ソレ以下デ賣ッタモノ
ハ、其意思ガ内地ノ產業ヲ破壊スルノ
意思ガアルト否トニ拘ラズ不當廉賣ト
見ルノデアルカ、惡意ガナケレバ不當
廉賣ト見ナイノカト云 フ質問デアリマ
ス

令ナリデ品目ヲ列擧シテ、ソレ等ノ物ヲ輸入スル場合ニハ、商工大臣ノ許可ヲ受ケルト云フヤウナ仕組ニ依テ制限スル、斯様ニ考ヘテ居ル、意思ハ問フ必要ハナイト思フノデアリマス
○飯塚委員 ソコガムヅカシイト思フ、一體不當ト云フコトハ何所カラ出ル、不當廉賣ト正當ノ廉賣、正當ト不當ノ區別ハ餘程ムヅカシイ、例へバ染料ノ如キモノハ、染料ノ價格ハ何所ニアルト云フコトヲ、獨逸ナラ獨逸ノ染料ニ付テ定メル時ニ 聯盟理事會ノ方ニ出ス値段ガ、或ル一種ノ物ヲ假ニ五百圓ノ價格トシテアル、相當ノ生產費用ヲ見テ五百圓ナラ五百圓トシ、ソレガ列國ノ認メテ居ル價格デアレバ、是ハ正當ノモノニ相違ナイ、併ナガラ今度日本ニ假ニ輸入スルトキニナルト云フト、斯ウ云フコトガ起ラウト思フ、所ガ實際ニナルト、此聯盟理事會ノ方ニ出シタ價格ハ、各國ノ者ガ見テ五百圓ハ相當ノ値段デアルガ、日本ニ假ニ輸入スルトキニナルト云フト、ソレヲ四百八十圓トシ、二十圓安クシテ來ル、併シ是モ正當ノ價格ト見ナケレバナラヌ場合ガアリマス、決シテ不當デナイ、何故カナラバ聯盟理事會ノ方ニ出シタキノ生産費ト云フモノハ、其品物ヲ製造スルノニ、誰ガ見テモ差支ナイヤウナ方法デアルケレドモ、是ガ商賣トナッテ、自分が輸出スルトキニナルト云フト、自分ノ利益ヲ少シ僅ニスルトカ、或

ハ能率ノ舉ガルノヲ見テ二十圓安クス
ルト云フヤウナコトハ、決シテ不當廉
賣トハ思ハレナイ、故ニ不當廉賣ト云
フコトハ、意思ヲ聞カナイデ認メルコ
トハ出來ナイ、其生產費トカ或ハ販賣
費ト云フモノガ一定ノモノデナイ以上
ハ、其間ニ常ニ其價格ト云フモノニ變
動ヲ來タス、變動シテ來ラレタトキニ、
ソレガ安ケレバ不當ダト見ル譯ニハ行
カヌ、現ニ今日ノ日本ノ產業事情デモ、
今日ノヤウナ不景氣ノ時ニハ、吾々ノ
製造スル所ノ物ハ、何デモ販賣ノ上ニ
利益ヲ得テ賣リタイト考ヘテ居リマス
ケレドモ、生產費ガ償ハナイデモ賣ラ
ザルヲ得ナイ場合ガアル、斯ウ云フ風
ナモノヲ日本ノ吾々ガ賣ルトキニ、不
當廉賣ト假ニ外國ノ人ガ見ルカ見ナイ
カ、特ニ日本ノ今日ノヤウニ、自分ノ商
賣ノ都合ニ依テ生產費ヲ損シテモ賣ッ
テ、品物ガ外國ニ輸入サレタトキニ、不
當廉賣品ヲ製造スルト云フコトニナル
ト云フト、私ハ是ハ間違フダラウト思
フ、ソレハ不當廉賣デハアルマイ、唯單
ニ不當廉賣ト云ヘバ、正當ナラザルト
云フカラ、直キニ分リマスケレドモ、實
際ノ事ニナルト此區別ハ餘程ムヅカシ
クナル、正當ノ値段ト云フコトト、不當
ノ値段ト云フコトトノ區別ハ、實際ニ
當ルトムヅカシイト思ヒマスガ、ドウ
云フ方法ニ依テ之ヲ分ケルノデアリマ
スカ

ト、御話ノ通り正當ノ價格デアル、不當ノ價格デアルト云フコトノ調査ハ、非常ニ面倒デアリマス、一々日本ニ入ッテ來ル其輸入品ニ對シテ、製造工場ニ就テ原料カラ、製造費カラ、一切ヲ調査シテ、其生產費ガ果シテ正當デアルカラニカト云フコトマデ、嚴密ニ調査シテ掛ラナケレバナラヌコトデアル、ケレドモソレヲヤルト云フコトハ非常ニ大袈裟ナ、非常ナ費用ガ掛カル、非常ナ手數ガ要ルノデ、是ハモウ中々困難ナ事デアリマス、要ハ我ガ重要工業ニシテ、向フデ生産スル費用、價格、ソレニ諸掛リヲ加ヘタモノヲ大體ノ原價ト見テ、サウシテ日本ノ工業ト之ヲ相照シテ見テ、其入ッテ來ルモノガ尙且ツ日本品ヲ脅威壓迫スルト云フヤウナ品目ニ付テハ、商工大臣ハ其輸入ニ對シテ制限ヲ加ヘル、斯ウ云フコトデ不當廉賣法ヲ制定シタイト思ヒマス、ソレハ御話ノ通リ非常ニムヅカシイ問題デアリマス
○飯塚委員 サウシマスルト云フト、不當廉賣ニ關スル取締法ト云フモノハ、商工省デハマダ確定シテ居リマセヌノデスカ、今後何カ新ニ取締法ヲ調査ノ上決定スルト云フノデアリマス
○樋瀬政府委員 ソレハ今一ツノ成案ヲ得マシタカラ、廳テ敕令カ何カデ之ヲ發布スル見込デアリマス
○飯塚委員 ソレデハ其質問ハ省イテ

置キマス、尙ホ定マッテ居ルトスレバ、
假ニ亞米利加ノ「シンガーミシン」ノヤ
ウナモノガアリマス、「シンガーミシ
ン」ナドト云フモノハ、アレハ能ク日本
ノ代價、支那ノ代價或ハ南洋ノ代價ト、
大キナ會社ガ世界ヲ獨リデ「コントロ
ール」スルヤウナ場合、若モ日本ヘ輸入
スルトキニハ、日本ノ品或ハ他ノ品ト
競争ベク、原價ノ生産費ヨリ非常ニ安
ク、日本ニ於ケル「ブライス」ト云フモ
ノヲ置ク、其生産費ハ百圓デアツテモ、
之ヲ八十圓デ賣ルト云フ組織ニナツテ
居リマス、是ハ一方デハ確ニ損ヲシテ
居リマス、其代リ支那ヘ行クト其品物
ノ競争ガナイカラ、同ジ百圓デ生産シ
タモノヲ百五十圓デ賣ル、即チ支那ノ
「ブライス」ト日本ノ「ブライス」トデハ
全ク違フ、一方デ損ヲシテモ、一方デ儲
ケルト云フ風ニシテヤツテ居リマス、ア
ノ「シンガーミシン」ノ代價ナドハ、國
ニ依テ皆違フテ居リマス、進歩シタ大キ
ナ製造工業ノ組織ハ皆此方デ外國ニ輸
出スル、故ニ生産費ヨリ安いカラト云ッ
テモ、或ル物ニ依テハ決シテ不當廉賣
チヤナイ、ソレニハ惡意ハ含ンデ居ナ
イ、自分ノ商賣ヲ保護スル爲ニ、價格ヲ
二三ニスルノデアル、支那ニ於ケル「ブ
ライス」、南洋ニ於ケル「ブライス」、日本
ニ於ケル「ブライス」ト云フヤウナモノ
ガアル、若シ假ニ「シンガーミシン」ナ

モノヲ捨ヘテ、非常ニ安クシテ、ソレデ
ハ引合ハヌト云フヤウナモノガアッタ
時ニハ、之ヲ不當廉賣ト認ムルヤ否ヤ
恐ラク實際ニサウ云フ場合モアラウト
思フ、ソレニ付テハドウ御決定ニナリ
マスカ、マダ決定シテナイノデアリマ
スカ

テ、ソレガ爲ニ苦ンデ居リマス、ソコデ
其生産過多ノ場合ニハ、ドウカシテ賣^ク
テシマハナケレバナラヌ、ソレハ決シ
テ他ノ產業ヲ脅威カスト云フヤウナ考
デハナイ、自己ノ產業ノ保護ノ爲ニ、製
品ヲ生産費以下デ賣^クテシマフト云フ
コトガアル、安ク賣^クテモ、他ノ產業ヲ

トキニハ、日本ノ產業ヲ破壊スル爲ニ
廉賣スルノデハナクシテ、ソレハ已ム
ヲ得ズ廉賣スルト云フコトデアリマ
ス、其時ニ不當廉賣ト見ルト云フコト
デハ、商賣ハ官營トシナケレバナラナ
イ、生産費以下デ賣ルト云フコトハ、今
日ノ生産組織ニ於テ常ニアル、ソレヲ

○黒田政府委員 一應私カラ申上ゲマ
シテ、若シ不十分ノヤウデシタラ商工
省ノ方カラ申上ゲルコト思ヒマヌ、
只今例ニ御取リニナリマシタ「シンガ
ミシン」ノ如ク、内地ニ生産ガナクシ
テ、殆ド獨占ニナッテ居ルヤウナモノ
ハ、是ハ内地ノ重要産業ヲ脅スモノデ
ハアリマセヌカラ、ソレガ安ク參リマ
シタカラト言フテ別ニ差支ナイノデア
リマス、今例ニ御取リニナリマシタノ
ハ、日本ニハ生産ガ出來ナイト云フ方
ノ物ノ例ト思ヒマス、内地ニ産業ノア
リマス物ニ付テ、ソレヲ潰ス爲ニ日本
ニ安ク持テ來ル、支那デハ獨占デアル
ガ爲ニ高ク賣ツテ、日本ノ産業ヲ潰ス爲
ニ安ク賣ルト云フコトデアリ、特ニ其
產業ガ日本ノ重要産業デアッテ其價格
ガ相當デナイト云フ場合ニ於キマシテ
ハ、是レ即チ不當廉賣デアッテ、内地ノ
重要産業ヲ脅威スルモノデアル、斯ウ
考ヘテ居ルノデアリマス

○飯塚委員 是ハ現ニ日本ノ産業デモ
サウデアリマスガ、今日ハ非常ニ生産
過多デアル、需要ノ程度ガ分ラヌモノ
デスカラ、生産者ハ常ニ生産過多ニナッ

打潰サウト云フ惡意ガアツタノデヤナ
イ、自己ノ産業ヲ保護スル爲ニ廉賣ヲ
スルト云フコトハ幾ラモアリマス、廉
賣ヲシテ他ノ産業ヲ脅スト云フコトハ
惡意デアルガ、サウデナク惡意ガナクシ
テ、自分ノ持ッテ居ル品物ヲ投賣シナケ
レバナラヌト云フ場合ハ幾ラモアリマ
ス、サウ云フ時ニ、詰リ不當廉賣品ノ輸
入、外國デサウ云フ場合ニ投賣シタモ
ノラ日本ニ仕入レテ來タキニハ、其
廉賣品ト云フモノハ、決シテ人ノ産業
ヲ壞ス爲ニシタノデハナイ、又輸入ス
ル人モ商人デアルカラ、日本ノ産業ヲ
壞ス爲ニ入レタノデハナイ、安イカラ
入レタノデアルカラ、其間ニ更ニ惡意
ハナイ、惡意ガナイト云フコトハ事實
デアルガ、日本ノ重要産業ヲ壓迫スル
コトガアル、故ニ其間ニ惡意ガアルカラ
ドウカト云フコトヲ見ルノガ非常ニム
ヅカシイ、惡意ガアレバ無論當然デア
ルト思ヒマスガ、惡意ガナクテモサウ
云フ場合ガ澤山アル、正當ニ輸入シタ
ケレドモ——稅金ヲ課ケテ這入ッテ來
タケレドモ、今賣レナイ、仕方ガナイカラ
廉賣シナケレバナラヌ、廉賣ヲスル

生産費以下デ賣フタカラ、常ニ不當廉賣ニ掛カルト云フコトデハ事情ニ適シナ
イト思フ、斯ウ云フコトガアルカラ、餘程取締ニ付テハムヅカシイコトダト
考ヘテ居リマス、是ダケノコトヲ希望
トシテ述ベテ置キマス

○棚瀬政府委員 御話ノコトハ商賣ト
往々アリ得ベキコトデアル、又アリマ
スケレドモ、矢張生産者ガ自己ノ利益
ヲ擁護スル爲ニ、或ル場合ニハ之ヲ低
廉ニ賣ラナケレバナラヌ、廉賣シナケ
レバナラヌト云フコトガアルト同時
ニ、又國家ハ矢張國家ノ重要工業ヲ保
護スル自衛上ノ立場カラ、ソレ等ノコ
トヲ放任スルコトガ出來マセヌカラ
矢張意思ノ如何ニ拘ラズ、其安イ價格
ヲ以テ日本ノ重要工業ヲ脅威スルヤウ
ナ賣方ヲシマスモノハ、ドウシテモ取經
ヲスル必要ガアル、此見解カラ參ッテ居
ルノデアリマス

○橋本委員 只今不當廉賣ト云フコト
ニ付テ、色々質問應答ガゴザイマシタ
ガ、尙ホ之ニ對シテ明ニ御答辯ヲ願ツテ申
置キタイコトカアリマスカラ重ネテ申
上グマス、假ニ從量稅テアリマスナラ

第七回 大正十五年二月九日

バ差支アリマセヌガ、從價稅デアルト、
餘程考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、
ガ、斯ウ云フ實例ガアルノデアリマス、
亞米利加デ鐵屋ガ今度自分が廢ヌル、
是ハ從量稅デアルケレドモ、從量稅デ
ナクシテ從價稅ト云フモノモアル、自
分ハ之ヲ廢ヌル、ソレカラ羅紗屋ガ廢
ヌル「ストック」ガ相當ニアル、之ヲ賣ッ
テシマヒタイ、併ナガラ整理ニ「ダンヒ
ング」ヲヤルコトハ出來ナイ、ソレデア
ルカラ相當ニ相談スルナラバ賣リマセ
ウト云フヤウナコトガ現在起ツタノデ
ス、是ハ日本人ハ買ハナクテ支那人ガ買
ヒマシタガ、假ニ百萬圓ノモノヲ日本
人ガ六十萬圓デ買ッタト假定スル、其時
日本ノ「インボイス」ハ六十萬圓、「ビ
ル、オブ、レーディング」ハ六十萬圓ト云
フ「プライス」ガ書イテアル、併シ百萬
圓ノ價値ノアルモノヲ六十萬圓ノ「イン
ボイス」デ買ッタト云フヤウナトキニ
ハ、唯一回限リデアリマスカラ、日本ノ
生産工業ニ對シテ別ニ關係ハ無イヤウ
デアリマスケレドモ、斯ウ云フ場合ニ
ハ此輸入稅ニ對シテドウ云フコトヲ爲
シング」デハナイガ、事業ノ整理ノ爲メ己ム
ヲ得ズ安ク賣ラナケレバナラヌヤウナ
コトガ起ル、サウ云フモノガ五回、六回
ト續イタ場合ニハ、ドウスルカト云フ
コトヲ明ニ聞イテ置キタイノデアリマ

○棚瀬政府委員 要スルニ今申シタ通り不當廉賣ニ關スル勅令ヲ拵ヘヤウ、サウシテ此取締ルベキ又免ズベキ新品种ヲ、省令ナリ其他ノモノデ之ヲ國民ニ示サウ、是レ々々ノ品物ヲ輸入スル時ニハ商工大臣ノ認可ヲ得ロ、斯ウシリタイ希望デアリマス、ソレデアルカラ今ノ御話ノヤウナ六十萬圓デ買ツタ、之ヲ輸入シヤウト云フヤウナ事柄ハ、矢張其當時ノ狀況ニ照シテ判断スル外ハナイト考ヘマス

○橋本委員 只今政務次官ノ御話ノヤウニ、始マリカラ何カ豫定シテアルヤウナ品物ニ對シテナラバ、サウデアリマスケレド、假ニ商人ガ偶然ニ外國デ買ツテ、日本政府ニ於テハソレ等ノ品目ニ付テ何等ノ豫定モナイト云フヤウナ場合ニドウスルカ、只今ノ御話デハ「オーラクション」ト云フ話デアッタガ、「オークション」ハ公ノ相場デアリマス、此時限リノ相場デナクシテ、示談デ買ツタ時ニハドウスルカト云フヤウナコトニ對シテ、明ナル返答ヲ願ヒタウゴザイマス

○棚瀬政府委員 只今申上ゲタノト同ジ事デアリマス、「オークション」デアラウガ、協定價格デ買ハウガ、要スルニ日本ノ重要工業ヲ脅威スルヤウナモノガアッタナラバ取締リマス

○長田委員 農林次官ニ伺ヒマスガ、私ハ第六條ト米穀法トノ關係ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○小山政府委員 只今ノ御尋デアリマスガ、是ハ米穀法ノ運用ヲ致シマスレバ、其精神ニ基イテ取扱ヲ致シマスレバ、此第六條ト云フモノハ、餘リ其活用ヲ見ナクシテ行ケルモノダラウト考ヘテ居リマス

○長田委員 私共モ亦農林次官ノ御説明ノ如ク、關稅ニ對シテハ本法ハ主タル法律デアリマスケレドモ、米穀法ハ此關稅ニ於テスル所ノ特別法ナノデアリマスカラ、矢張其法ガ效力ガアルノハ當然デアッテ、寧ロ米穀法ノ存在スル以上ハ、第六條ハ其働くヲ現ハス場合ハナイト私ハ信ジテ居リマスガ、政府ハソレデモ尙ホ此第六條ハ存スル必要ガアルト御認メニナルカ、御認メニナルナラバ、此第六條ノ働くヲ致ス場合ハドウ云フ場合デアルカ

○小山政府委員 只今ノ御尋ハ御尤デアルト思ヒマスガ、是ハ植民地ノ方ニ運用ヲ致シタイ考デアリマス

○長田委員 了解致シマシタ、次ニ第七條ノ第十二付テ伺ッテ置キタイノデアリマスガ、此官立公立ノ學校ト掲ゲラレテ、何故私立ノ學校ヲ御省キニナックタノデアルカ、尙ホ學術ノ研究所ト云フ如キモノモ、何故之ヲ御省キニナックタ云フ理由ヲ伺ヒタイ

○黒田政府委員 只今御尋ノ私立ノ學校ニ付キマシテハ、現行ノ規定デ「私立ノ專門學校」トアリマシタノデ、此委員會ノ初メニ於テ御説明申上ゲマシタヤ

ウニ、私立ノ専門學校デハ聊カ狹キニ
失スル感ガアルヤウニ考ヘルノデアリ
マス、是ハ度々問題ガ實際上ニアッタノ
デアリマスカラ、今回ハ之ヲ擴張致シ
マシテ、「命令ヲ以テ指定シタル私立ノ
學校」ト致シマシタ、此點ニ於テハ現行
ノ規定ヲ稍擴ゲマシタ積リデアリマ
ス、御尋ノ趣旨ニ大體副ツテ居ルコトト
考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ研究
所ト云フ御話デアリマシタガ、是ハ營
造物ノ中ニ解釋シ得ルモノニ付キマシ
テハ、其適用ヲ致サウト考ヘテ居ルノ
デアリマス

マセヌト、色ニノモノヲ輸入シマス取締ノ上ニ於キマシテモ、多少考慮ヲシナケレバナラヌ點モアルノデアリマス、隨テ私立ノ學校ニシテ相當ノ設備ヲ以テ教育ノ事ニ當ツテ居ルモノヲ指定スル趣意ヲ以テ、命令ヲ以テ指定スルコトニシタノデアリマス、是デ現行ノ規定ヨリハ相當範圍ハ擴張スル積リデ居リマス

○長田委員 然ラバ其命令ヲ以テ指定サレタ學校トハ、ドノ種ノ學校デアルカ、モウ一ツ御説明ヲ願ッテ置キマス

○黒田政府委員 御答申上グマス、只今ハ專門學校デアリマスカラ、中學校トカ小學校ト云フモノハ今ナイノデアリ

マスガ、是カラハ小學校、中學校ト云フ風ナモノも入レル積リデアリマス、唯

先程モ申上グマシタヤウニ、多少營利ノ方ニ近イヤウナモノデアルトカ、其

基礎ノ未ダ固マッテ居ラスト云フ風ナモノニ付キマシテハ除外致シマスガ、

前申上グマスヤウニ中學校トカ、小學

校トカ云フ風ナモノハ入レル積リデアリマス

○加藤委員長 沼田嘉一郎君

○沼田委員 私ハ第四條ノ報復條項ニ付テ伺ヒタイ、「他國ノ船舶、生産品若ハ輸出品又ハ他國ヲ通過シタル物品ヨリモ不利益ナル取扱ヲ爲ス國ノ生産品」トアリマスガ、是ハ例ヘテ申シマスレバ、英領ノ濠洲、印度其他ノ植民地ガアリマスガ、是ハ等シク英國ト見ラレ

覽ニナツテ居ルノデアリマセウカ

○黒田政府委員 只今例ニ御舉ゲニナ

リマシタヤウナ所ハ、別個ノ國ト見ル

ノ規定ヨリハ相當範圍ハ擴張スル積リ

○長田委員 ソレデハ續イテ御尋致シ

○沼田委員 ソレデハ續イテ御尋致シ

○沼田委員 タイ、我國ノ船舶ノ積載シタル物品ニ

附加稅ヲ課ケル所ガアルト云フコトヲ

聞イテ居リマス、濠洲ハ輸出獎勵金ヲ

受ケテ居ル國ノ船舶ニ積載シタル物品ニハ附加稅ヲ課ケテ居ルト云フコトヲ

聞クノデアリマス、若シサウデアルナ

ラバ、本法ニ依テ報復條項ヲ御設ケニ

ナル御考デアリマウカ

○黒田政府委員 ソレハ關係ガ違フヤ

ウニ考ヘマス、輸出獎勵金ヲ下付シテ

居ルモノニ付テ附加稅ヲ課ケマスノ

ハ、五條ニ依テ我國ニ於テモ他國ニ於

テ輸出獎勵金ヲ受ケテ居ルモノニ對シ

テハ、同額ノ關稅ヲ附加スルノデアリ

物ニハセナイト云フコトデハ、我國ノ

船舶ガ積荷其他ノコトニ非常ナ困難ヲ

感ズル、ソレニ對シテ致方ガナイト云

フヤウナコトデハ、私ハ報復條項ヲ設

ケラレル上ニ於テ足ラザル點ガナリハ

カ、即チ國ニ依テハ修繕料ヲバ其國デ

拂フタモノヲバ、更ニ其國ニ歸ッタ時分

ニ其修繕料ニ課稅ヲスルヤウナ國ガア

ルヤウデアリマス、米國ノヤウナ國デ

ハ左様ナコトヲヤッテ居ルヤウニ聞ク

ノデアリマスガ、我國ニ於キマシテハ、

之ニ對シテ矢張同一ノ報復條項ヲ設ケ

ル御考デアリマスカ

○沼田委員 御答申シマスガ、只

今御尋ノコトハ斯様ニ了解致シテ居

リマス、修繕ノ爲ニ或ル品物ヲ外國ニ

ヤリマシテ、其修繕ヲシテ、又持歸リマ

シタ場合ニ於テ、其修繕料ダケノ關稅

ヲ課スル國ガアルガ、日本デハ如何ニ

シタガ、現行ノ規定ニ於キマシテハ其

モノハ、第八條ニ依ッテ免稅ヲ致シテ居リマスガ、其修繕ニ依テ色ニ機械ヲ直シタリ、取付ケタト云フ場合ニ於テハ、ソレニ對シテ、課稅ヲ更ニ致スコトニナフテ居ルノデアリマスガ、何等性質、形狀ヲ變バズシテ、五年以内ニ持ツテ參リマス場合ハ、課稅ヲ致サナイコトニナフテ居リマス

○沼田委員 是ハ本邦工業ニ重大ナル關係ガアリマス、產業保護ノ精神カラ云ッテモ、成ルベク日本ニ來タモノハ、日本デ修繕セシメルト云フ方一法ヲ取ラシムルト云フノガ至當デハナイカト思フガ、今御説ノヤウニ五箇年以内ニ歸ツテ來レバ、稅ヲ課ケナイト云フヤウナコトデハ、眞ニ我國ノ工業ノ保護ト云フ上ニ於テ徹底シタ所ガナイト私共思ヒマスガ、ソレニ對シテ何等カ御考ヲ御持チニナッテ居ルヤウナコトハナイノデアリマセウカ

○黒田政府委員 是ハ唯性質、形狀モ變ジマセヌデ、單ニ修繕ヲ致シテ居ル場合ニ於テハ、其修繕費ト云フヤウナモノヲ算出致シマス上ニ於テ、實行上餘程困難ガアラウト考ヘマスカラ、今回ノ改正ニハ之ヲ加ヘナカッタ次第デアリマス

○沼田委員 先般濠洲ノ議會デ、歐米ニ比シテ生活ノ程度ノ低イ國ノ物品ニ對シテハ、相當ノ附加稅ヲ課ケルト云フコトガ議會ノ議ニ上ツタ場合ニ、生活程度ノ低イ所ハ何レデアルカト云フ議

員ノ質問ニ對シテ、政府當局ハ明瞭ニコトニナリマシテ、此我國ノ品物ニ對シテ生活ノ程度ガ低イト云フ理由ノ下ニ課稅ヲセラレルト云フコトガアリマシタナラバ、必ズ此第四條ニ於テヤラレルト云フコトハ疑ナイノデアリマスガ、第四條ハ勅令ヲ以テ物品ヲ指定スルノデアリマス、サウ云フ意味デアリマスト致シマスレバ、濠洲ヨリ我國ニ來テ居リマスル物品ニ、今日豫メ指定致シテ置キマシテモ、直グ其次ニ他ノ變ツタ物ガ輸入シタ場合ハ、此報復條項ハ其用ヲ爲サナイコトニナル、此點ニ對シテドウ云フ報復條項ニ依テ、オヤリニナル御積リデアリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○沼田委員 先刻第五條ノ不當廉賣ノ取締ニ對シテ質問應答ヲ重ネテ居リマシタガ、私モ其點ニ對シテ御尋致シタ旨ハ、日本ノ產業ヲ脅威セシムルヤウナ不當廉賣ヲ爲ス場合ニハ、此規定ヲ用ヒルト云フノデアリマスガ、明治四十三年ニ本法ガ制定セラレテ以來今日マデ、此不當廉賣審査委員會ノ審査ヲ經テ處罰シタル事例ガアルノデアリマスカ、之ヲ先づ第一ニ承リタイ、第二ニハ私共ノ聞ク所ニ依レバ、未だソレガ無イヤウニ承ルノデアリマスガ、サウ致シマスト、一昨年來ノ鐵ノ不當廉賣是ハ明ニ日本ノ鐵業者ニ對シマシテ脅威ヲ與ヘタコトハ事實デアリマスガ、之ニ對シテ如何ナル方法ヲ御執リニナツタヤウニ聞カヌノデアリマスガ、政府ハ之ニ對デアラウカ、ソレヲ承リタイノデアリマス、要スルニ此第五條ノ不當廉賣ニシテ如何ナル方法ヲ御執リニナツタノデアル、之ニ對シテカラニ少ナカラザル脅威ヲ受ケレ居ルトスルコトガ事實トスルナラバ、唯聲明ノミデ實行ガ出来テ居ナケレバ私共甚ダ遺憾ト思ヒマス、此點ニ對シテ明ニ御説明ヲ願ヒタマス

○黒田政府委員 只今御尋ニナリマシタ不當廉賣ノ規定ヲ、制定以來適用シタ實例アリヤ否ヤト云フコトデアリマスガ、是ハ實例ハナイト承知致シテ居リマス、次ニ鐵ガ近年——數年前ニ於テサウ云フ事實ガアッタヤウニ思フガ、私ノ承知致シテ何等カ之ニ對シテ處置ヲ執ッタカト云フヤウナ御話デアリマス、是ハ商工省ノ關係デアリマスガ、私ノ承知致シテ居ル所ヲ申上ゲマスレバ、御話ノヤウニ鐵ニ付キマシテ左様ナ懸念ガアッタノデアリマス、之ニ就キマシテハ、ソレハ出來ルダケ當時調査ハ致シタノデアリマス、併ナガラ未ダ的確ニ此條文ヲ適用ヲシテ處置スルト云フマデノ結果ヲ得ナカツタヤウニ承知致シテ居ルノデアリマス、隨テ此條文ヲ今日迄實際ニ於テ働くシテ、正當價格ノ同額以下ノ關稅ヲ賦課シタト云フ事實ハナイノデアリマスガ、是ハ先程商工政務次官ヨリモ御話ノアリマシタ通り、此條文ノ規定ガ如何ニモ正當價格ト云フモノヲ如何ニ定メルカ、即チ不當廉賣デアルヤ否ヤト云フコトヲ、如何ニ定メルカト云フコトニ付テ、稍明確ヲ缺イテ居ルト云フ嫌モアルノデアリマシテ、適用上ニ於テマダ實際ニ十分ニ此規定ガ整ツテ居ナイト云フヤウニ考ヘラルル節モアルノデアリマスカラ、先程御話ノアリマシタヤウニ、之ニ對シマシテハ更ニ必要ナル所ノ、適用上ニ明ニナリマスヤウナ規定ヲ設ケラレマシテ、

成ベクサウ云フ風ナ場合ニ於テ此規定
ノ則用出來シマウニ、則固ニ御考ガマツ

アルカ、此期日ノ御豫定ヲ明ニ知リタ
ウ序ジマス

圖ルト云フヤウナコトガ、全ク無イト
云フコトハ伸サレナイト考ヘルノデア

レノ國モ同ジヤウニ考ヘルノテアリマス、殊ニ先日モ大藏大臣ノ申サレマシ

ヤウニ承知致シテ居ルノデアリマス

○黒田政府委員 是ハ兩院ヲ通過致シ

リマスガ、然ラバ見越輸入ヲ考ヘテ註文ヲノテ、ソノガ期限内ニ來ナイデ、施

タ通り、外國ニ於キマシテハ、寧ロサウ
云フ風ナ見越^{スル}入ノ弊ヲ防グ爲ニ、提

法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行スト書イテ
ゴザイマスガ、此施行ノ時期ハドウ云
フ時デアリマスカ、公布ノ日ト云フノ
ハ何レノ時期デアリマスカ、之ヲ御伺
致シマス

シタイ考ヲ持ツテ居リマス
○橋本委員 尚ホーツ御尋致シマス
ガ、此關稅定率ノ改革ニ際シマシテハ、
總テノ商人ハ思惑ヲスルト云フコト
ハ、普通行ハレテ居リマスガ、思惑ヲセ

行後ニ到著シタ爲ニ高クナルモノト、ナウデナク普通ニ註文ヲシタモノガ、施行後ニ著イテ高クナルト云フモノトノ間ニ區別ヲ設ケルコトハ、到底實行上出來ナイコト考ヘテ居ルノデゴザイ

案ノ日ニ迦テ適用スルト云フ所スラア
ルノデアリマヌ、是ハサウ云フ場合ガ
アリマシテモ、是ハ已ムヲ得ナイト云
フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○黒田政府委員 此改正案ガ幸ニ議會
ノ御協賛ヲ經マシテ成立致シマシタ時
ニ於キマシテハ、成ベク早ク之ヲ公布
ノ手續ヲ仰ギマシテ、施行ヲ致シタイ
考ヲ有ツテ居ルノデアリマス、即チ此法
律ガ公布サレマシタ其日ヨリ直ニ適用
スル積リデアリマス、即チ言換ヘレバ、
公布サレマシタ日以後ニ輸入申告ガア
リマスル品物ニ付キマシテハ、此改正
案ヲ適用致シマスシ、公布ノ日ノ前日
迄ニ輸入申告ノアリマシタモノニ付キ
マシテハ、現行法ヲ適用スルト云フコ
トニナルノデアリマス、唯御尋ハ何等
カソコニ猶豫ノ取扱ガアルカト云フ風
ナ意味ヲ、或ハ含シデ御尋デアッタカト
考ヘラレマスルガ、ソレハ何等ノ猶豫
ハナイノデアリマス、公布ノ日以後ニ
輸入手續ヲサレマスモノニ付キマシテ
ハ、總テ此法律ヲ適用スル積リデ居ル
ノデアリマス

ザル者ト、思惑ヲシタ者ト兩方アルヨトハ無論ノコトデゴザイマスガ、假ニ輸入サレタルモノ、要スルニ機械デス、極ク精密ナル機械デ、以前ニ註文シテ居リマシタガ、改革前ニ這入ルコトガ出來ズシテ、段々遲レテ改革後ニ這入シテ來タ、斯ウ云フヤウナ物ハ其外國ノ證明ガアルカ、或ハ又日本領事館或ハ大使館アタリノ證明ガアツタナラバ、情狀ヲ酌量シマシテ、之ヲ免稅シテヤル御意思ガアルカナイカ、之ヲ御伺シタイ、單ニ見越輸入デアッテ、必ズ近イ中ニ關稅改革ガアルカラ、今註文ヲシテ置イタナラバ、近イ中ニ來ルト云ノデヤツテ置イタモノガ、色ニ支障ノ爲ニ遲レテシマッタ云フ、兩様ノ事ガアルニ違ヒナイガ、ソレニ對スル政府ノ御意思ハドウデアリマスカ○黒田政府委員 見越輸入ハ沟ニ吾ニハ望マシクナイ事ト考ヘテ居ル所デア

マス、ソレ故ニ先程モ申上ケタヤウニ
公布ノ日ヲ以テ、其日以後ニ輸入サレ
マスモノハ、全部其註文ガ何レノ時ニ
アツタヲ問ハズ、總テ改正法ヲ適用致ス
ト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、既
ニ法律ハ一月十九日ニ議會ニ提案サレ
テ居ルノデアリマスカラ、其間一月十
九日以前ニ註文サレマシタモノハ、太
部分何等改正法ト云フモノニ付テ知ラ
ズシテ註文ヲサレマシタモノニ付キマ
シテモ、大體ハ此期間ニ於テ輸入ヲ終
ルモノト考ヘテ居リマスシ、其以前ニ
於テモ、今例ニ御取リニナリマシタヤ
ウナ註文シマシタ後ニ相當時日ヲ要シ
マシテ、即チ機械ノ製作等ノ如キ、製作
ノ期間ガアリマスケレドモ、是ハ所謂令
御話ノ見越輸入ト之ヲ區別スルト云フ
コトモ、極メテ困難デアリマスルシ、大
體此改正法ヲ施行シマスル場合ニ於

入品ニ對シマシテ、横濱揚クト假定致
シマスカ、最初カラ横濱揚ノ積リデ居
タモノガ、施行ノ期日後ニ遲レル爲ニ
臺灣ノ基隆ニデモ寄港シテ税關ノ手續
ダケデモ致シテ置キタイ、サウシテ後
横濱ニ品物ヲ揚ゲル、斯ウ云フ場合ニ
政府ハドウ云フ處置ヲ御執リニナリマ
スカ

ヒタイガ、公布ノ日ト云フノハ、貴衆兩院通過ノ後デアルカ、議會終了ノ後デ

リマスガ、只今御尋ノ通リ、或ハ改正ヲ
見越シマシテ、成ベク早ク之ヲ輸入ヲ

ハ、各國共ニサウ云フ場合ニハ、矢張改
正法ヲ適用シテ居ルト云フコトハ、何

或ハ又新ニ課稅スルノ必要ヲ政府ニ於テ認メタル場合ハ、何レノ時期ニ於テ

第五類第二號 關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員會議錄 第七回

御提案ニナルカ、詰リ直ニ此審議中ニ
御出シニナルカ、或ハ又明年度ニ於テ
ヤルカ、明後年度ニ於テヤルカ、其時期
ガアラウト思ヒマスガ、其時期ヲ御尋
致シタイ

○棚瀬政府委員 御質問ノ要領ガ能ク
呑込メマセヌガ……

○橋本委員 審議中ニ税率ヲ變更スル
必要ガ起タ場合、或ハ今迄ハ無稅デア
リマシタモノガ、之ニ課稅ヲシナケレ
バナラヌト云フ必要ヲ感ジタル場合ニ
於テハ、政府ハ何レノ時期ニ於テ提案
ナサルカト云フ質問デアリマス

○棚瀬政府委員 只今ノ所デハ變更、
修正、増減ヲスル必要ヲ認メテ居リマ
セヌ、隨テ時期其他ニ付テモ申上グル
コトハ出來マセヌ

○堀切委員 私ノハ質問デハナイノデ
アリマス、議事進行ニ付テ兼テ一言致
シタイ、私ハ過日大藏大臣ニ對シ稅額
增加ニ關スル基礎數字ヲ求メテ置イタ
ノデアリマスカラ、是ガ廻付ヲ得テ、ソレ
ニ付テ又疑問ガアレバ質問ヲ致サナケ
レバナラヌ、只今承レバ未ダ出來ナイ
ト云フコトデアルガ、是ハ元々或ル基
礎數字ガアッテ稅額ヲ御算定ニナツタノ
デアリマスカラ、元々アッタモノヲ御配
布ナサルダケデ、至極簡單ナコトデア
ラウト思ヒマスガ、未ダ御配布ニナラ
ヌノハドウ云フ譯デアルカ伺ヒタイ

○小山政府委員 只今堀切君カラ御催
申上ゲテ置キマスガ、山内君ノ昨日ノ
御話ノ中ニモ、農產物ハ他ノ工業品ト
達ヒマシテ、其生產費ヲ確實ニ割出ス
ト云フコトハ非常ニ困難デアリマス、
中之ヲ一樣ニ看做スト云フコトハ出來
人寄レバ十色ト申シマスヤウニ、中

促ノモノハ、本日午後迄ニ出來上ルサ
ウデアリマスカラ、ソレマデ御待チヲ
願ヒタイ

○長田委員 農林省ニ御願シタインオデ
シウゴザイマスガ、其「バーセンテ」
ジ「ドモ構ヒマモヌガ、何カ表ガ出來得
ルナラバ御出シヲ願ヒタイト思ヒマス
ガ如何デゴザイマスカ

○小山政府委員 只今御要求ノ品物ニ
付テハ、ドウシテモ入用ダト仰シヤル
ナラバ何トカ致シマセウガ、昨日山内
君カラノ御尋デアリマシタカ、農產物
ノ關稅ヲ定メル場合ニ當ッテノ生產費
ノ基礎ガアルカト云フヤウナ御尋ガ
アッタ、ソレニ似寄ッタ御尋ガアッタ、其
事ニ付テハ相當ニ調ベタモノガアルノ
ノデアリマスカラ、是ガ廻付ヲ得テ、ソレ
ニ付テ又疑問ガアレバ質問ヲ致サナケ
レバナラヌ、只今承レバ未ダ出來ナイ
ト云フコトデアルガ、是ハ元々或ル基
礎數字ガアッテ稅額ヲ御算定ニナツタノ
デアリマスカラ、元々アッタモノヲ御配
布ナサルダケデ、至極簡單ナコトデア
ラウト思ヒマスガ、未ダ御配布ニナラ
ヌノハドウ云フ譯デアルカ伺ヒタイ

難イコトデアリマス、前段申上グマシ
タヤウナ意味ニ於テ、只今長田君ノ御
願ヒタイ
是ハ出來得ルダケ整ヘテ差上グルコト
アリマスガ、鶏卵ノ消費先キ——是ハ
シウゴザイマスガ、其「バーセンテ」
ジ「ドモ構ヒマモヌガ、何カ表ガ出來得
ルナラバ御出シヲ願ヒタイト思ヒマス
ガ如何デゴザイマスカ

○長田委員 能ク次官ノ御説明ハ了解
致シマシタ、農產物ノ生產費ノ計算ニ
對シテハ、政府ニ於テモ吾ニニ於テモ
非常ニ苦心ヲ致シテ居ル所デアリマス
カラ、之ニ就テ確定的ノモノヲ御差出
シ願フコトハ困難ト思ハレル、唯昨日
ナラバ何トカ致シマセウガ、昨日山内
君カラノ御尋デアリマシタカ、農產物
ノ關稅ヲ定メル場合ニ當ッテノ生產費
ノ基礎ガアルカト云フヤウナ御尋ガ
アッタ、ソレニ似寄ッタ御尋ガアッタ、其
事ニ付テハ相當ニ調ベタモノガアルノ
ノデアリマスカラ、是ガ廻付ヲ得テ、ソレ
ニ付テ又疑問ガアレバ質問ヲ致サナケ
レバナラヌ、只今承レバ未ダ出來ナイ
ト云フコトデアルガ、是ハ元々或ル基
礎數字ガアッテ稅額ヲ御算定ニナツタノ
デアリマスカラ、元々アッタモノヲ御配
布ナサルダケデ、至極簡單ナコトデア
ラウト思ヒマスガ、未ダ御配布ニナラ
ヌノハドウ云フ譯デアルカ伺ヒタイ

○小山政府委員 只今ノ長田君ノ御要
求ノ卵ノコトデアリマスガ、出來得ル
ス、唯支那カラ來ル卵ハ既ニ御承知デ
アリマセウガ、茹卵デアルトカ、割卵デ
アルトカ云フヤウナモノガ入ッテ居リ
マスガ、如何ニモ品質ガ粗悪デアリマ
シテ、能ク花見頃ダトカ、縁日アタリニ
茹卵ヲ板ノ上ニ置イテ安ク賣ッテ居リ
マスガ、アレガ支那卵デアリマス、此粗
惡ナモノヲ何レノ方面ヘドノ位消費サ
レテ居ルカト云フコトハ、正確ニ分ラ
ヌヤウデアリマス、併ナガラ御要求ニ
對シテハ及ブダケ調べテ差上グマス、
ドウゾソレデ御承知ヲ願ヒマス

○佐々木委員 第九條第二項ニ付キ御
要旨ヲ見マヌルト、現今ノ「肥料」ト云
フ二字ハ「油又ハ油粕」ト云フコトニ
尋致シタイト思ヒマス、本項ノ改正ノ
要旨ヲ見マヌルト、現今ノ「肥料」ト云
フ二字ハ「油又ハ油粕」ト云フコトニ
ナツテ居リマスガ、現行法ハ肥料ヲ製造
スルコトニナツテ居ル、ソレカラ改正法
ハ油又ハ油粕、即チ肥料ヲ製造致シマ
スルト其結果油ガ出ル、現行法ハ肥料
ガ主トナツテ居ツテ、ソレカラ生ズル所
ノ油ハ副產物ニナツテ居ル、改正法ニ依
リマスルト、主タル製造品モ、副產物モ
差別ヲ撤廢セラレタヤウニナツテ、能ク
出來テ居ルヤウニ思ヒマスガ、唯御尋
致シテ見タイト思ヒマスノハ、命令ヲ
以テ指定スル事ガアリマス、是迄ハ肥
料ノ製造ニ重キヲ置イテアリマスガ、
今度ハ油ト油粕ニ重キヲ置イテ、二ツ

トモ同一ノ製造ニナッテ居リマシテ、改正致シマシタ爲ニ此原料品ニ何カ是迄ト變ツテ居ルノデアルカ例ヘバ油若クハ油粕ヲ製造スルニハ大豆モアリマセウシ、又菜種モアリ、或ハ亞麻デアルトカ、落花生デアルトカ、油ノ種類モ色ミアルデアリマセウガ、命令ヲ以テ指定スルモノニ、原物品ニ付キ何カ御指定ナサルノニ決ツテ居ルモノガアリマシタナラバ御尋シタイ

○黒田政府委員 只今御尋ノ點ハ御述ニナリマシタ通リ、現行ニ於テハ肥料ノ製造トアリマスノヲ、命令ヲ以テ指

定シタル油又ハ油粕ノ製造ト云フコトニ致シマシテ、稍現行ヨリモ廣ガツヤウナ規定ニナッテ居ルノデアリマス、之

ハ御承知ノ通リ現行ニ於テ大豆デアルトカ、胡麻デアルトカ、菜子、落花生ト云フヤウナモノヲ輸入致シマシテ、油又ハ油粕ヲ製造致シマシタ時ハ、現行ニ於テハ其肥料、即チ油粕ニ付テハ全當ナル税率ノ免除ヲ致シテ居ルノデアリマス、御承知ノ通リ大豆ニ付テハ全部ノ免除ニナッテ居ルノデアリマス、故ニ之ハ寧ロサウ云フ風ナ品物ヲ入レマシテ、ソレヲ原料トシテ油ナリ油粕ヲ捨ヘマシタ場合ニ於テハ、油粕ニ付シテ適當ナル免除ヲ致スト共ニ、油ニ付キマシテモ、其油ガ工業上必要ナモノデアルト云フヤウナ場合ニ於テハ、製油業ヲ致ス時ヨリモソレニ對シテ免稅致シ、又一方カラ見マシテソレニ免稅致

シテモ、内地ノソレ等ノ生産業ニ脅威ノ感ジナイモノニ對シテハ、之ヲ場合ニ依テハ免除スルト云フコトガ適當デ

アラウト考ヘマシテ、油又ハ油粕ト云フ事ニ致シタノデアリマス、大體今日考ニ免除ヲ致シ、其他ニ付テハ内地ノ生

産ノ狀況ヲ考ヘ、落花生ニ付ラハ今回マスガ、其稅率ヲ引上ゲマスト云フト、落花生ノ稅率ヲ引上ゲテ居ルノデアリ

内地ノ落花生油ニ——落花生油粕ノ製造上ニ影響ヲ致スノデアリマス、是ハ内地ノ落花生ノ生產ガ主トシテ食用ノ

モノデアリマシテ、製油用ノモノニハ差支ナイト云フ考ヲ持ツテ居ルカラ、落花生ニ付テハ油並ニ油粕ニ對シテモ免

ト云フ事ガ分レバ調ベテ行ク點ニ於テ参考ニナルト思ヒマスカラ、サウ云フモノガ現ニ調ベガ付イテ居レバ御配付ヲ願ヘレバ大變好都合ト思ヒマス、併セテ御願シテ置キマス

○黒田政府委員 御尋ノ第一ハ七條ノ六號ノ改正ニ付テデアリマスガ、之ハ外國ニ於キマシテ我國カラ派遣サレテ居リマス所ノ大使、公使ノ用品又ハ大使館、公使館等ノ公用品ト云フモノニ對シテ制限ヲ附ケテ免稅ヲ致シテ居ルモノニ付テハ、其國カラ參ツテ居リマスガ、

二ノ御尋ノ點ハ十、十一號ノ規定ノ適用ニ付キマシテ色ミ社會的ノ生活改善等ヲ企テ居ル公益法人ニ付テ免稅ヲ適用スルカト云フ御尋デアリマスガ、

云フ所ノ改正デアリマス、ソレカラ第ニ附シタイト云フ趣旨デアルノデアリマシテ、サウ云フ國ハドウ云フ國デアルカト云フヤウナ御話モアリマシタ

ガ、現ニ露西亞ニ於テサウ云フ規定ガルカト云フヤウナ御話モアリマスガ、

云フコトニナラウト考ヘマス、ソレハキマシテハ左様ナ物ハ課稅ヲサレルト

リマス、今日ニ於キマシテハ是等ハ課稅ヲ致シテ居リマス、今回ノ適用ニ於

テハ、大使ニ屬シマスルモノ、及大使館員ニ屬シマスルモノハ、一括致シマシテ色ミノ品目ニ付テ、ソレニ關係

シテ居ル所ノ大會社、大工場ト云フ風
ナモノハ、ドウ云フモノガアルカ、ソレ
等ノ生産額ハドレ位今日アルカト云フ
コトノ調べノヤウニ拜承致シマシタ
ガ、左様デアリマスカ

○星島委員 サウデス

○黒田政府委員 フレハ能ク一ツ關係
ノ省ト協議致シマシテ調査スルコトニ
致シマス

○加藤委員長 ソレデハ法文ニ關スル
質問ハ是デ一通り終了シタモノト見マ
シテ、御必要ガアレバ隨時御許シヲス
ル、今日ハ是デ休會致シマシテ、明日ハ
皆サンノ議案ノ御調査ノ爲ニ一日休ミ
マシテ十二日カラ開會致シマス

午後零時四分散會